



第56号
2012年7月発行

AIRA

ABIKO INTERNATIONAL RELATIONS ASSOCIATION (我孫子市国際交流協会 TEL. 04-7183-1231)

2012年度総会開催される

日時 : 2012年5月6日(日) 13:30 ~ 15:40
場所 : あびこ市民プラザ 多目的ホール



通して様々な活動をされていることを知りました。祖国を守り誇りに思うことがひいては外国の皆さんを尊敬することに繋がり重要だと思えます。来日したばかりの外国の皆さんは不安を感じています。AIRAの皆さんがどうか助けてあげ下さい。」とそれぞれご挨拶を頂戴しました。



第21回総会はフィリピン出身の小野イメルダさん(Mrs. Imerda Ono)の日本語による開会宣言から始まりました。小野さんは2010年10月にAIRA Cultural Dance Groupを結成し各種イベントでバンブーダンスを披露しています。

早坂会長からは「昨年度(2011年度)は3.11東日本大震災の影響を受けた1年でした。AIRAの日本語講座でも先生、生徒とも一時人数が減りましたが、今年になって落ち着きを取り戻しています。そのような中で2011年11月に無事20周年記念式典を迎えることができたことは嬉しいかぎりです。」と挨拶があり、星野市長は「我孫子には約1300人の外国人がいます。彼らが快適に生活できるよう引き続きAIRAのサポートをお願いします。また子どもたちの国際化にもご協力願いたい。」また、川村市議会議員からは「20周年を迎えられおめでとうございます。このたびAIRAの顧問に就くことを機に皆さんが年間を

付議事項に移り2011年度の事業報告と収支決算報告、理事・監事・役員を選出案が出され承認されました。引き続き2012年度の事業計画と事業予算についての説明、審議が行なわれすべて承認されました。また報告事項として、顧問の交替についての説明がありました。

質疑応答では次の質問がありました。(1)外国語講座は現在英語、中国語、フランス語、韓国語、スペイン語の5か国語となっていますがさらにドイツ語、ロシア語、アラビア語、イタリア語の4か国語を開設することを望みます。

会長の回答「会場確保、受講者数の見込み即ち採算等考慮して対処せねばならずすぐ実行に移すことは出来





ないことご理解いただきたい。」

(2) 配布された資料によると会員数は756人。子どもや若者の勧誘を図り1000人の大台に乗せるよう努めてください。協力は惜しみません。

会長の回答「ご指摘の通りです。これからも会員増に努めます。」

総会資料による2012年3月31日現在のAIRA会員数。
総数756人：内訳 男324人 女432人、市内在住670人 市外在住86人、27団体。

2012年度のAIRA役員。

会 長：早坂 満

副会長：井手口 昶、北嶋扶美子、菅野哲哉

総務部会長：足達法子

広報部会長：門田靖英

交流部会長：張 華 (Zhang Hua)

研修部会長：別府宏一郎

ボランティア部会長：艦 康彦

会計：染谷幸和、鷺見政夫

総会の後お茶を飲みながら軽食での会員交流パーティを持ちました。

広報部会副会長の木川さんが竹の横笛ソロ吹奏を披露しました。①越天楽 ②G線上のアリア ③コンドルは飛んでいくの後、皆で「上を向いて歩こう」を合唱しました。

2012年度事業計画

全体事業

全体事業は、協会の基本方針である草の根レベルでの国際交流を推進するため、我孫子市に住む外国人の方々が参加し易い内容となるよう創意工夫をし、また市民とりわけ青少年の国際感覚が高まるような事業を行い、協会活動の充実と会員同士の理解や親睦を深めていきたいと思っております。

1 第21回あびこ国際交流まつり

今回で21回を迎える国際交流まつりは、我孫子を生活の場とする外国人の方々と市民との交流を深める最適なイベントと考えます。外国人の方々が積極的に参加できる様な企画にしたいと思います。

日時：2012年11月25日（日）開催予定

会場：あびこ市民プラザ

2 第14回国際交流スピーチ大会

この事業は、国際的な視野を持つ青少年の育成を目的として開催しています。国際交流に関して、どのような経験や考えを持っているかということを重視してい

ます。国際交流スピーチ大会へ出場することにより、新たな自分を発見することにもなります。また、めまぐるしく変化する今日の世界に目を向け、様々な出来事に対して自分の意見をハッキリ主張できる場でもあり、国際交流に深く関心を持つ機会の提供は、我孫子市の国際化の推進に大きく貢献するものと確信いたします。この事業は本協会の継続的事業としていきたいと思っております。

日時：2012年9月23日（日）開催予定

会場：あびこ市民プラザ

3 外国人のための文化講座

外国人の方々の要望を取り入れた内容とし、日本の文化、

伝統、習慣を体験できる機会を提供する講座とします。この講座の受講が日常生活の中で役にたつことを期待し、また受講を機会に AIRA の事業や地域の行事に参加し、会員や市民との交流が深められることに繋がっていくと信じ実施します。毎年好評の外国出身者からお国の文化や、料理等の紹介も出来る範囲で開催をいたします。

4 東葛地区国際交流協会連絡協議会

本協議会（我孫子・柏・鎌ヶ谷・流山・野田の5市）に参加することにより、東葛地区の他国際交流協会と AIRA を比較検討および参考にできる良い機会であると考えています。

5 業務受託事業

我孫子市からの受託業務として「外国人のための日本語教室」、通訳・翻訳業務、「広報あびこ」の保健・イベント関連記事等を編集し、News Letter Abiko として英訳印刷・配布・市のHPへの掲載をはじめ、随時各種の翻訳を行います。また、必要なときにそのつど各国語の通訳の派遣をします。外国人からの相談にこたえる「外国人相談窓口」は常時受け付けし対応します。

6 日本語指導のための学校派遣事業

AIRA と我孫子市教育委員会の連携のもとに、市内小中学校に在籍する日本語の支援を必要とする児童生徒に対して、各学校からの申請に基づき、日本語指導のボランティアスタッフが学校に出向き指導するという「日本語指導のための学校派遣」を全体事業に位置づけて活動してきました。

昨年度に引き続き今年度も実施します。日本の小学校・中学校に通学しながら、日本語の指導を受け、学校生活を懸命に頑張る子ども達にとって、AIRA の日本語支援が果たす役割は大きいと実感しています。また、各学校からは、AIRA 日本語支援ボランティアの熱心な支援に対して感謝を寄せられています。これまでの経験を生かして、我孫子市の小中学校の日本語支援を必要とする子どもたちへ日本語支援ボランティアスタッフによる指導を行っていきます。

会員紹介

ボランティア部会長

へさき
艦 康彦 氏



「Taittinger」を「テッティンジャー」と読んだら笑いが漏れた。退職した後、通い始めたワイン教室、シャンパンの授業中の出来事。正しくはテタンジェという。だからフランス語は好きになれない！ 何であんな風に発音するのだろうか？

70年代に9年近くドイツに駐在したことがある。その際フランスにも頻繁に出張、結局ワインには十分馴染んだが、フランス語には毛嫌いが残った。出張から戻り周りでドイツ語が聞こえるとほっとしたものである。負け惜しみに覚えた逸話：「古代ローマ、カエサル軍団がガリア地方（今のフランス）を征服した際、地元ケルト人女性をお妾さんにして、ラテン語を教えた。けれどガリアは寒いので彼女たちは口を大きく開け母音をはっきり発音することが出来ない。もごもごしゃべっている内に今のフランス語が生れた。」

しかし、私としてはせめてボトルのラベルぐらい恥をかかないで読みたいとの思いが強くなり、六十の手習い、一念発起してフランス語を習うことにした。2年ほど都内の大学に通った頃、地元我孫子にもフランス語講座があるのをたまたま知った。これがAIRAとの出会い。我孫子に住み始めて30年（途中米国駐在で4年ほど抜けたが）このような団体があるのを全く知らなかった。

フランス語講座を受けている内、AIRAの活動にも参加するように勧められ、これまで国際交流まつりの実行委員、野外美術展の通訳（英語）、総務部会などでお手伝いをした。今年になりボランティア部会長をやらないか、と言われ考えたが、現役時代の経験を活かし多少なりとも地元へ貢献できるのでは、と思い受けることにした。

屋外活動（テニス、スキー、ゴルフ）が大好きでいつも忙しくしていますが、今後は皆様の助けを借りながらボランティア部会の仕事を進めていきたいと思っています。宜しくお願いします。

南スーダン・アラビアを旅して

日時：2012年4月14日(土) 14:00-16:00

場所：あびこ市けやきプラザ8F 第1会議室

主催：我孫子の文化を守る会・講演会2012

講師：高 康治氏

受講者：約40名



講師の高 康治氏は上記会の会員です。「世界の人形館」館長で現役時代と退職後に世界各国を旅しています。最新では2011年11月15日～12月15日に旅行してられました。今回の旅を終えて訪問した国・地域は245になったそうです。またAIRAの賛助会員でもあり活動を支えてくださっています。

「スーダンはかつて訪問したことがありましたが、2011年7月スーダンから独立して南スーダンが誕生したので新生国を見とどけたいと思いました。以下今回訪問してきた主な国・地域のうち印象に残ったことをお話しします」

南スーダン共和国

The Republic of South Sudan

面積：約62万km² (日本の1.6倍)

人口：830万人

首都：ジュバ Juba

言語：英語、各部族言語

地理的には白ナイルと青ナイルが合流した地点にあり、ジュバはスーダンの首都ハルツームの南1200km.に位置する。イスラム色が濃厚な古都。

- ①ジュバ市内は埃っぽい赤土の未舗装の道路が目立つ
- ②建設ブームに沸いており活気がある。一攫千金を狙った外国人がたくさん来ている
- ③マーケットにある商品の大半は中国製。ケニヤやウガンダ製もあるが国産品は少ない
- ④観光スポットと呼べるものは皆無
- ⑤石油を持つ新生独立国にはアメリカと中国を中心とする各国、様々な国際機関やNGOの関係者が多数在留している。ホテル代も高騰している
- ⑥PKO(国連平和維持活動)の一環として2012年2



月に自衛隊が南スーダン入りした。資機材搬入の準備は順調に進み、間もなくジュバ市内で道路工事に着手すると聞く。

イエメン共和国

Republic of Yemen

面積：約53万km² (日本の約1.4倍)

人口：2460万人

首都：サナア Sana'a

言語：アラビア語

海拔：首都サナアは海拔2250mに位置する

- ①2011年反政府デモが頻発し多数の死者を出したため、市内各地で厳しい検問を実施。サナア滞在中は身の危険を実感するほどの緊張の連続だった。
- ②男性は昔からの習慣でジャンビア (Jambiya)

という短剣を腰に差している。一人前の戦士としてのあかしを意味する。

- ③男たちはコブ取り爺さんよろしく片方の頬を膨らませてカート (kat) を噛んでいる。カートはアラビア茶ノ木からとれる嗜好品で軽い一種の麻薬。

アラブ首長国連邦

United Arab Emirates

面積：約8万平方km. (北海道と同じ)

人口：460万人

首都：アブダビ Abu Dhabi

言語：アラビア語、英語

訪問したドバイ (Dubai) はアラブ首長国連邦を構成する 7 首長国の 1 員。アブダビの東隣に位置し人口は 220 万人。

① 1975 年頃は人口は 20 万人足らずであった。街中を流れる運河(クリーク creek) の両岸に街並の大半があるだけで、街を出ると一面砂漠だった。



砂漠であった場所に超高層ビルが林立し、今や世界最高級 7 つ星・5 つ星のホテルがある。

② 世界一高い超高層ビル、ブルジェ・ハリファ (Burj Khalifa =Burj = アラビア語で塔、Khalifa は UAE の大統領の名前) の高さは 828 m。452 m の展望台には超高速エレベーターで 1 分で着く。チケット料金 約 8,800 円。



日タイキッズラグビー交流をサポート

期間：2012 年 4 月 27 日 (金) ～ 4 月 28 日 (土)

会場：佐倉草ぶえの丘

NEC ラグビーグラウンド

受入者：松戸・柏・我孫子・印西の各ラグビースクール

タイキッズ：Plean Patana School ラグビー部 子供 30 名 (小学生中心・一部中学生を含む)



日本とタイの子どもたちによるラグビーを通しての国際交流という目的でタイから一行が来日しました。2009 年 4 月の第 1 回に次ぐものです。一行は 4 月 25 日成田に到着し各地で交流を深めましたが、AIRA は 4/27、4/28 の二日間 AIRA 会員の木田ワサナさんが通訳や円滑なスケジュール進行のために活躍しました。

4 月 27 日 (金) 佐倉草ぶえの丘

歓迎会と夕食の後レセプションを催しマスゲームも楽しみました。木田さんはタイ出身なので日タイ相互の連絡に当たりました。

4 月 28 日 (土) NEC ラグビーグラウンド

10:30 開会のセレモニー。日本側代表から「はるばる日本に来てくださってありがとうございます。子どもたちのラグビーがタイ王国と日本の友好親善になることを祈っています。どうかすばらしい一日を過ごしてください。」と挨拶。タイ側団長からは「子どもたちのラグビーを通じて日タイの交流を深めたい。タイにもぜひ来てください。」と応えました。

子どもたちはキャプテン同士でペナント交換をし

ました。開会式のやりとりは木田さんが日タイ両国語を通訳しセレモニーもスムーズに進行し皆さんから大変感謝されました。

この後快晴の下 親善試合を行いました。広々とした芝生の上で存分に試合を楽しんでいました。

4 月 29 日 (日)

グラウンドに集まり親善試合を行った後、正午前に閉会式がありました。

一行は成田山をお参りしてタイに帰国。



インドネシアの家庭料理 PASTEL(パステル)を作る

日 時：2012年1月19日(木) 10:30～14:00

場 所：アビスタ 調理室

講 師：ウイドヤ ニンシさん (Mrs. WIDYA NINGSIH) インドネシア出身

参加者：22名(内男子2名)

参加者はインドネシア、韓国、フィリピン、中国、日本の5ヶ国出身です。本日挑戦する「パステル」はわかりやすく例えるとインドネシア風ピロシキのようなものです。(材料は中身・皮とも15個分)

A. 中身

鶏肉(どの部分でもよい)250g、ジャガイモ2個、にんじん1本、玉ねぎ1個、卵1個、調味料：にんにく(みじん切り)、塩、こしょう、砂糖、サラダ油、コンソメ

- (1) 鶏肉を茹で、すり鉢ですりつぶす。茹で汁は後で使うので捨てない。
- (2) ゆで卵1個を8等分する。
- (3) 野菜は全て小さいサイコロ型に切る。
- (4) 玉ねぎ、にんにくを油で炒め、にんじん、ジャガイモ、肉を加えて炒める。
- (5) 調味料と肉の茹で汁を加えて炒め煮する。

B. 皮

小麦粉(薄力粉)500g、卵1個、ココナッツミルク、

バターあるいはマーガリン125g

- (6) 材料を鍋に入れ、温めながら少しづつバター or マーガリンと混ぜる。
- (7) 混ぜた材料をよくこねて15等分に切り丸める。
- (8) 麺棒を使って直径17cm程度の薄い皮にする。
- (9) 皮の中に(5)の中身と(2)の茹で卵をいれて包む。
- (10) 170℃に熱したサラダ油で揚げて、皮がきつね色になれば取り出す。

C. スープ

コンソメ味でパステルの中身と同じ材料でつくる。好みにより豆腐など他の具を入れてもよい。

ニンシさんは流暢な日本語で説明し質問にも丁寧に答えてくださいました。

皆で出来上がったパステルをいただきましたが形が崩れていても気にならず、自分の手で作ったものだけに美味しかったです。インドネシアではパステルは主食ではなくおやつだそうです。



2012年度第1回理事会開かれる

日時：2012年4月27日(月) 14:00~16:00

場所：あびこ市民プラザ 会議室1

4月25日の役員会に提示され審議した案件について、理事19名出席の下審議されました。5月6日に開かれる総会に提示される項目は以下の通り。

- (1) 2011年度事業報告および収支決算
- (2) 理事・監事・役員の変更
- (3) 2012年度事業計画(案)および事業予算(案)

これらの項目について理事会の同意を得たのでAIRA総会に報告し審議されます。なお2011年度決算についての監査も4月18日に終えたことが報告されました。

理事会終了後各理事より簡単な自己紹介、所属団体

の活動状況、AIRAとの係りについてエピソードを交えた近況報告がなされました。



New Teacher

ミチ・マユミ先生

【英会話中級（木）クラス】



My name is Michi Mayumi and I'm very excited for the opportunity to work with the students enrolled in Thursday's Intermediate class at AIRA. It was so nice to meet the students during the first class meeting and I enjoyed listening to everyone talk about their backgrounds and interests, which were not only many and varied, but so interesting!

When I asked everyone about what their goals were for taking the class, many talked about their desire to communicate naturally with people in English when they travelled overseas; to speak fluently with native speakers living in Japan; and to brush up their English speaking and listening skills. One wanted to keep his brain stimulated and another wanted to be able to enjoy watching movies in English. One class member told us that she wanted to use English for personal enjoyment.

Working together with the students in this class, I hope to help each of them achieve their goals by creating an atmosphere in which everyone can talk freely and comfortably in English about their thoughts, feelings and opinions. To accomplish this, I have come up with a few suggestions on how we can all get the most of our time in class:

1. Do your best to speak in English to me and to your classmates during class. Of course sometimes explanations in Japanese may be necessary and may sometimes be useful, but let's keep this to a minimum.
2. Don't be afraid to make mistakes, after all, we're all humans! Making mistakes is sometimes the best way to learn.
3. Please don't hesitate to ask questions if something is not understood, and feel free to make any comments during our discussions. Talk as much or as little as you'd like but your active participation would be much appreciated!

The lessons will be focused on the On the Move textbook which will provide students with practical skills for communicating effectively in English and dealing with a wide variety of travel situations. I hope to also stimulate some interesting conversations and discussions through extra material on various topics, and look forward to students sharing their own stories and other news through presentations or just small talk. To help each student continue to think in English outside of class, I plan to assign a little bit of reading, listening or writing homework

each week. I hope everyone will be able to find time out of their busy lives to enjoy a few minutes of English every day.

Lastly and most importantly - let's just enjoy learning and speaking English together! I look forward to seeing all of you in class.

Michi

マリー先生送別茶話会

日時：2012年2月23日（木）14:30～16:10

場所：クレオのレストラン「アクロ」

パーティ主催者：英会話中級・木曜クラス

参加者：23名



マリー先生のプロフィール：AIRAでは2003～2012年の間、英会話講師として務められ受講生からは「マリー先生」と慕われました。またAIRA主催のスピーチ大会には数回にわたり審査員団に加わっていたり、2歳～5歳の子どもの対象とした「英語で遊ぼう！」というキッズ・コーナーも開きました。

司会の梅村さんが開会の挨拶をしたのに続いて、受講者を代表して三浦さんがスピーチをしました。「私はマリー先生のクラスに初めから参加してきました。この期間英語を学ぶだけでなく先生や仲間とすばらしい時間を過ごすことができました。先生の新しいお仕事がうまく行きますように。」

受講生・AIRAスタッフ手作りのお菓子を食べながらおしゃべりを楽しみました。



Information

イベントスタッフ募集

AIRA の下記の事業についてスタッフを募集します。

- ☆スピーチ大会 開催日 9月23日(日)
- ☆あびこ国際まつり 開催日 11月25日(日)
(まつり実行委員として参画をお願いします)

交流部会 部員募集

交流部会では、部員を募集しています。活動内容はバスツアーの実施や、AIRA 会員と市民との交流を目的としたパーティ(ポットラックパーティ・クッキングパーティ等)を実施しています。BBQ パーティも考えていますが少しスタッフ不足です。ちょっと変わったパーティがあればいいな～とお考えの方、交流部会に入って企画段階から参加しませんか。交流活動に興味のある方は是非ご連絡下さい。多く方の応募をお待ちいたします。

また、「AIRA Cultural Dance Group」メンバーも募集しています。このグループはバンブーダンスを中心に、フィリピンダンスの練習を企画しています。フィリピン人優先ですが、日本人でも興味のある方は事務局までご連絡下さい。

研修部会 部員募集

研修部会は外国語講座の企画・運営、「留学生が先生!」プログラムでの留学生送迎等サポート、異文化理解講演会開催等を推進しています。又、AIRA まつりや各イベントにも参加して、外国の方と親しく交流もできます。研修部会への皆さまのご参加をお待ちしています。詳細は事務局にお問い合わせください。

文化講座 フィリピンの家庭料理

小野イメルダさんの指導により下記の日程でフィリピンの家庭料理を実施します。

- 日 時：2012年7月16日(月：祝日) 10:00 から
- 会 場：アビスタ調理室
- メニュー：マカロニスープと炊飯器で作るパイナップルケーキ

書き損じはがきご協力のお礼

11/1～2/29 までのキャンペーン期間中に、市内の回収箱及び事務局にご持参いただきました書損じハガキは 1,808 枚になり、80,365 円分の切手と交換できました。昨年同様に 40,000 円は、震災で親を亡くした子供たちのためのユネスコ募金に、残りの 40,365 円分の切手はユネスコの寺子屋活動にお送りいたしました。引き続きご協力をお願いいたします。

新賛助会員のご紹介

5月からの新しく入会されました賛助会員をご紹介します。

- アビコ西武観光 株式会社 様
- 株式会社 野田電気 様

AIRA20 周年記念誌発行



既に皆様のお手元に届いております 20 周年記念誌、紙面作成の際にはご協力ありがとうございました。様々なシーンが思い出されます。次の 10 年へのステップとして大切な記録ができました。

★編集後記

佐渡に 8 羽のトキの赤ちゃんが生まれ順次巣立って行っているとのニュースに日本中が喜びに包まれています。厳しい自然環境、生態環境のなかで成鳥になるまで、また成鳥になってからもサバイバル競争に負けないことを祈っています。

パンダといいトキといい日本で見られるのは中国の協力に負うところ大です。いつか日本固有の動物を中国に送って中国の人に見てもらえるようにしたいものです。(2012.6.10 記) 門田



我孫子市国際交流協会 ABIKO INTERNATIONAL RELATIONS ASSOCIATION
〒270-1166 千葉県我孫子市我孫子 4-11-1 あびこ市民プラザ内 10:00～17:00 (木曜定休)
Tel: 04-7183-1231 Fax: 04-7183-2005 URL: <http://www.e-aira.jp> E-mail: info@e-aira.jp